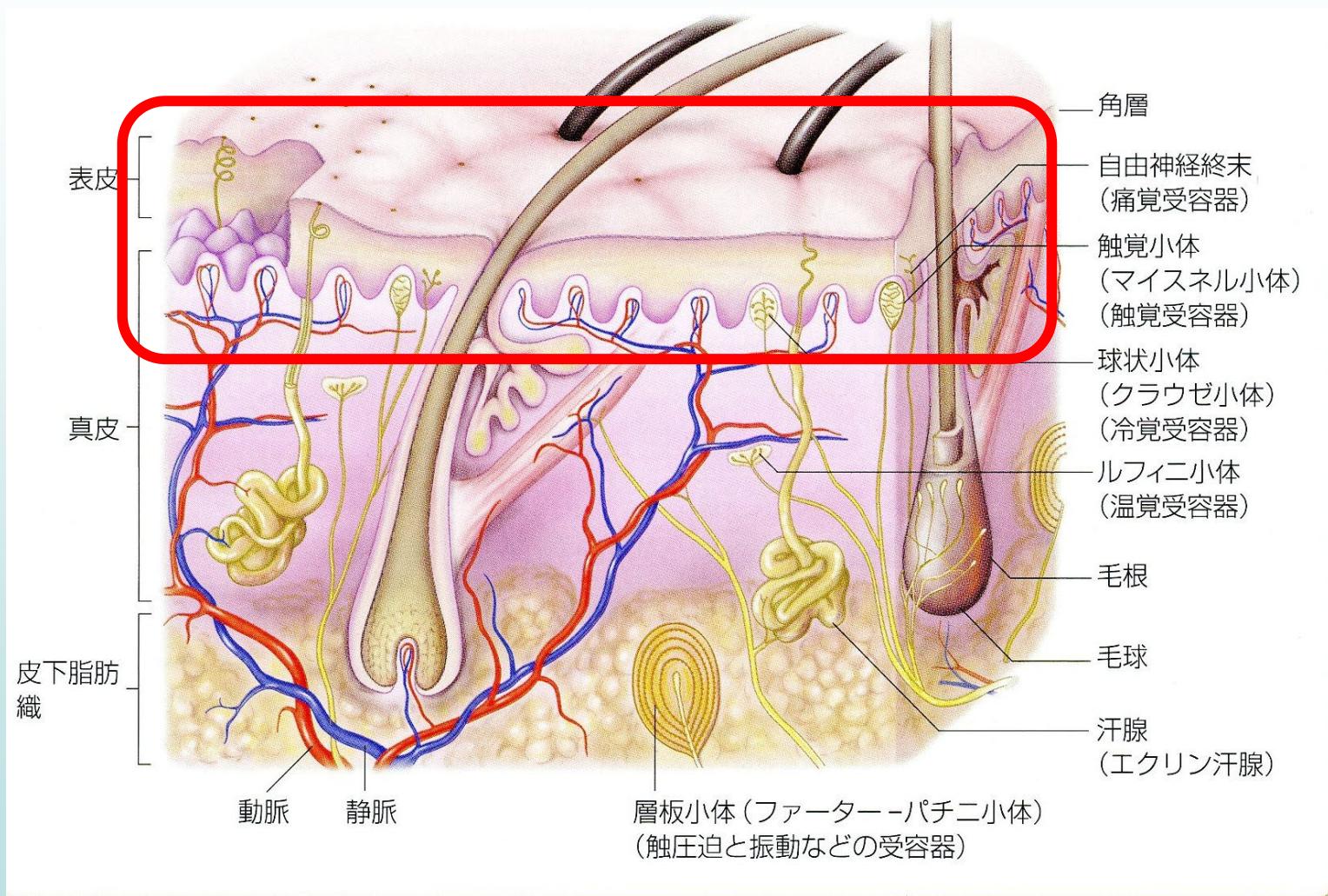


病態学 V 皮膚科

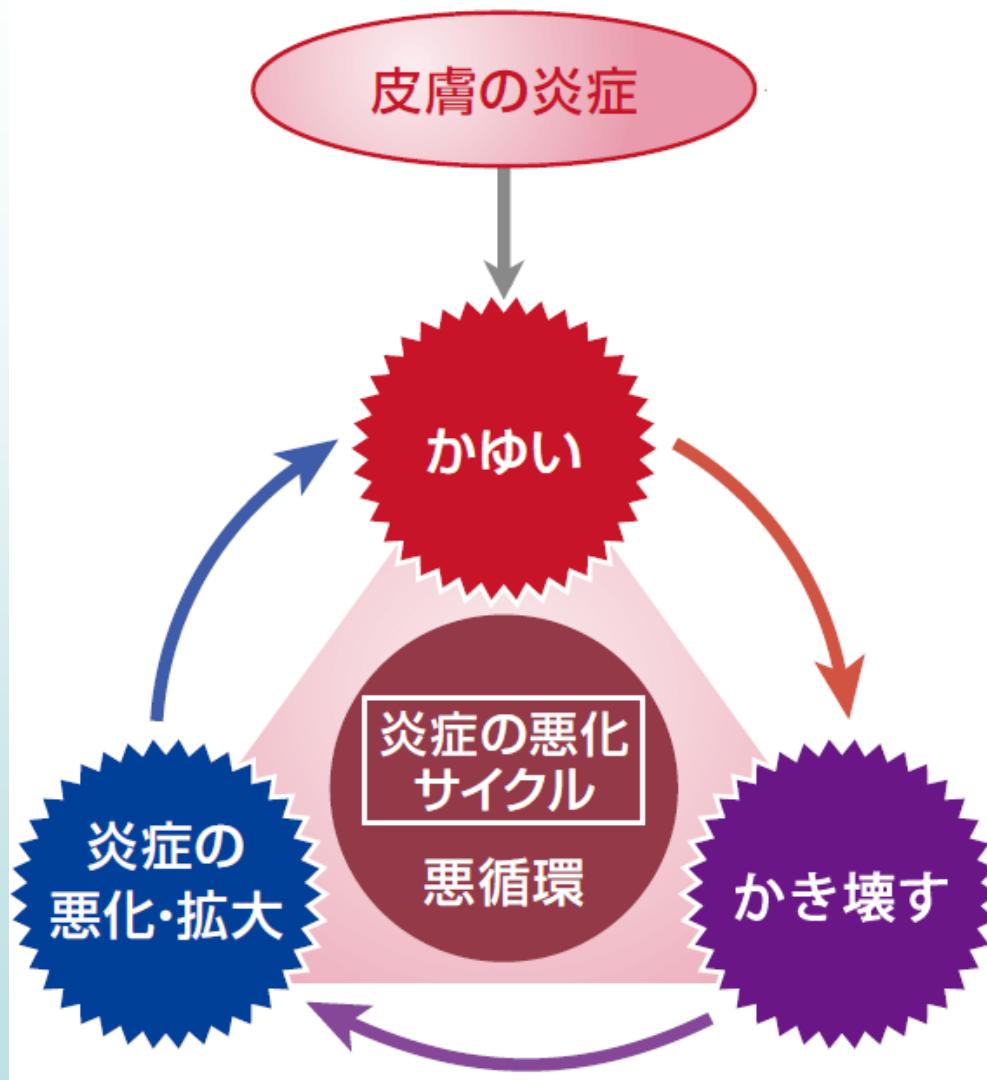
しむら皮膚科クリニック
志村 英樹



表在性皮膚疾患



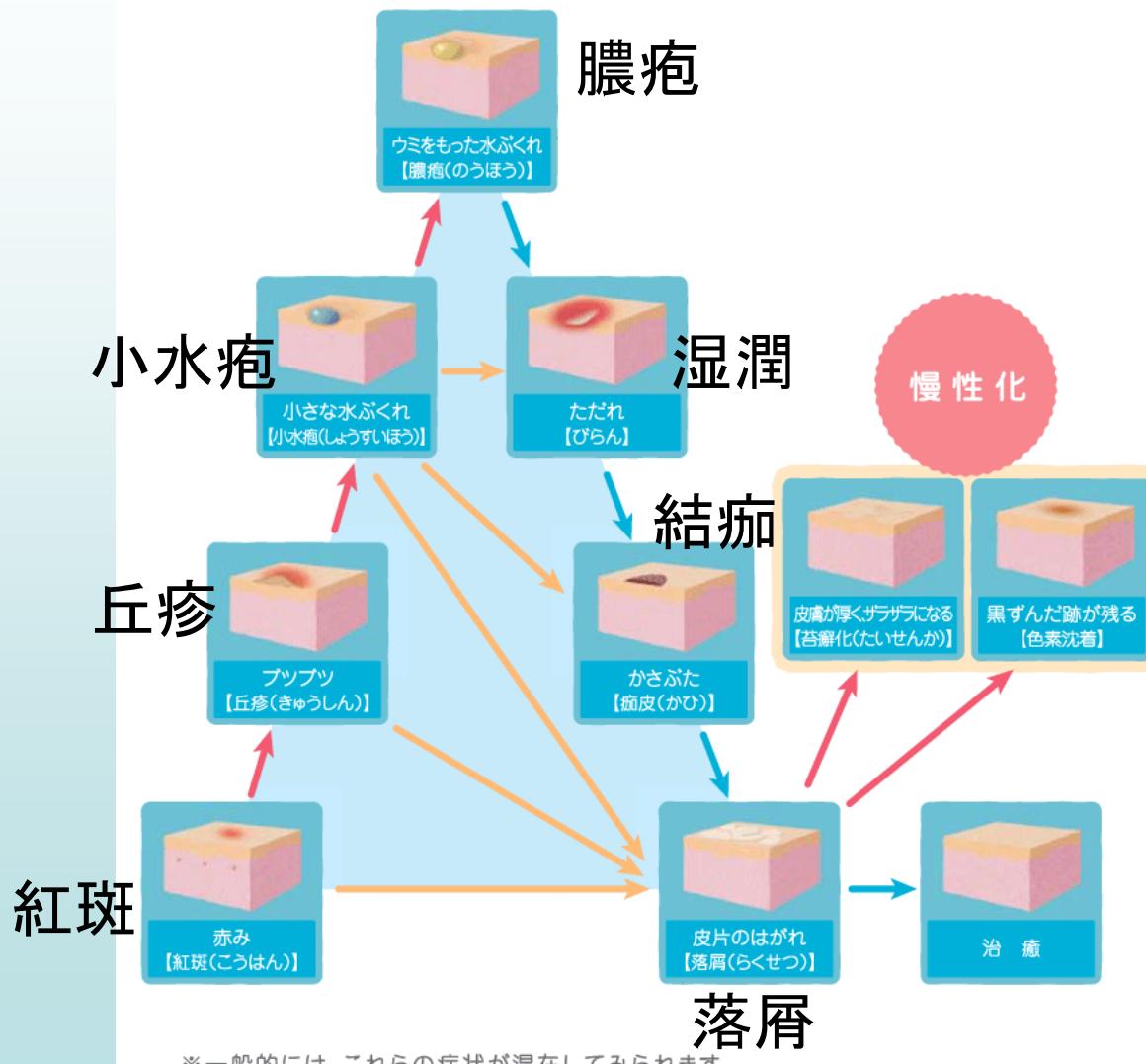
①湿疹



①湿疹

湿疹三角形

湿疹・皮膚炎群



①湿疹



漿液性丘疹

急性湿疹



苔癬化

慢性湿疹

治療は副腎皮質ステロイド外用

②接触皮膚炎

一次刺激性接触皮膚炎

- ・おむつかぶれ
- ・手湿疹
- ・汗かぶれ

アレルギー性接触皮膚炎

- ・うるしかぶれ
- ・化粧品かぶれ
- ・金属かぶれ
- ・湿布かぶれ etc

②接触皮膚炎

アレルギー性接触皮膚炎

- 遅延型(IV型)アレルギー
- 初回は起きない。感作期間が必要。
- 感作されていれば、12～24時間後から皮疹がでる。

②接触皮膚炎

アレルギー性接触皮膚炎



③手湿疹(主婦湿疹)



④おむつ皮膚炎

おむつ皮膚炎



FIGURE 1 Classic irritant diaper dermatitis, involving the convexities of the genitoanal skin

カンジダ皮膚炎



FIGURE 11 Diaper dermatitis with satellite pustules and papules reflecting Candida albicans-infection

・シワを避ける

・シワの中
・衛星病巣

湿疹・皮膚炎群

⑤アトピー性皮膚炎



⑤アトピー性皮膚炎

アトピー素因



バリア機能低下

環境要因

アトピー性皮膚炎

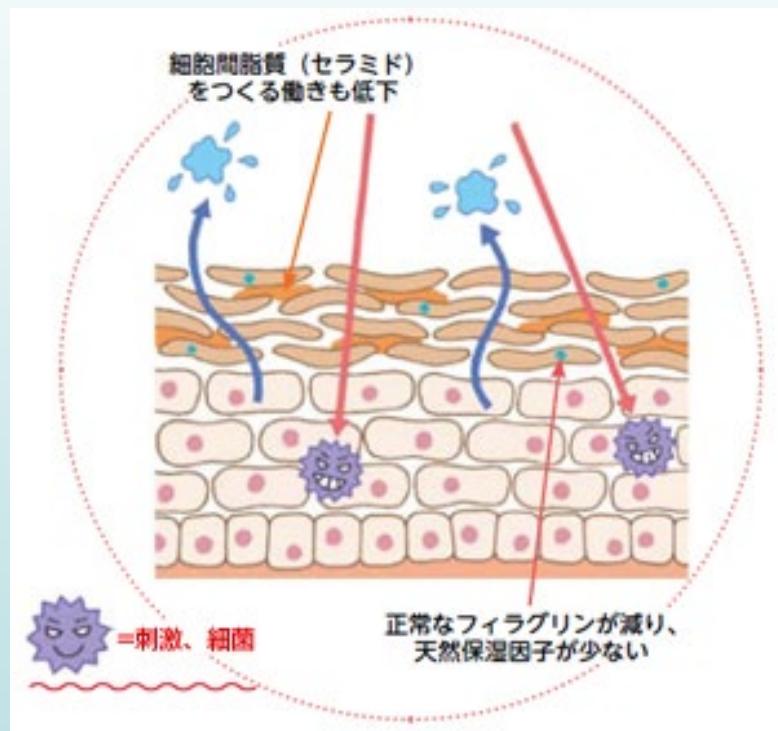
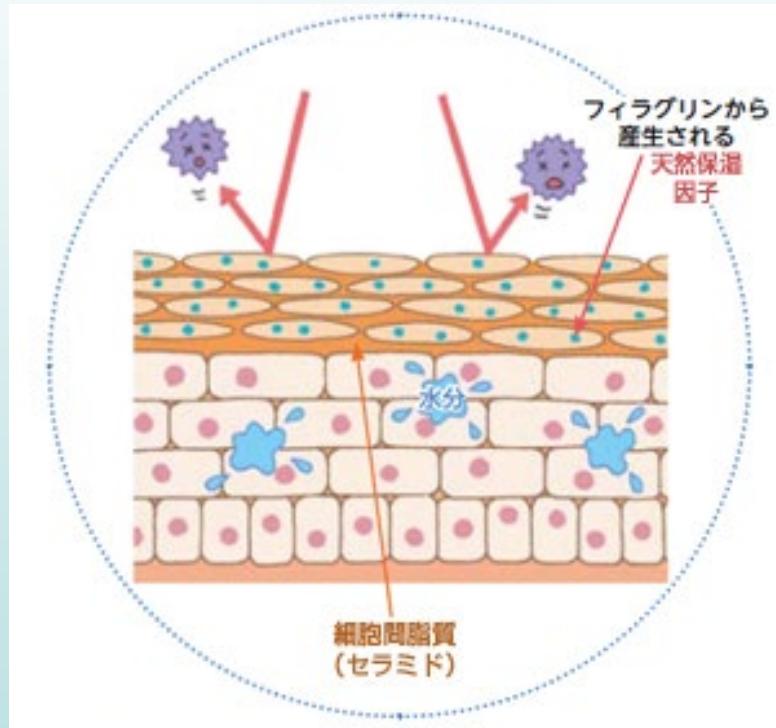
⑤アトピー性皮膚炎

アトピー素因

- 本人または家族が、アレルギー性の病気（アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎、ぜんそく、結膜炎など）を持っていること。
- アレルギーと深い関係がある免疫物質「IgE抗体」を作りやすい体质を持っていること。

⑤アトピー性皮膚炎

バリア機能低下



⑤アトピー性皮膚炎

環境要因

- アレルゲン
食物、ダニ、ほこり、カビ、花粉、動物の毛やフケなど
- アレルゲン以外の刺激
汗、衣類による摩擦、乾燥、ひつかき傷、「洗剤」など日用品、化粧品など
- その他
寝不足、過労、ストレスなど

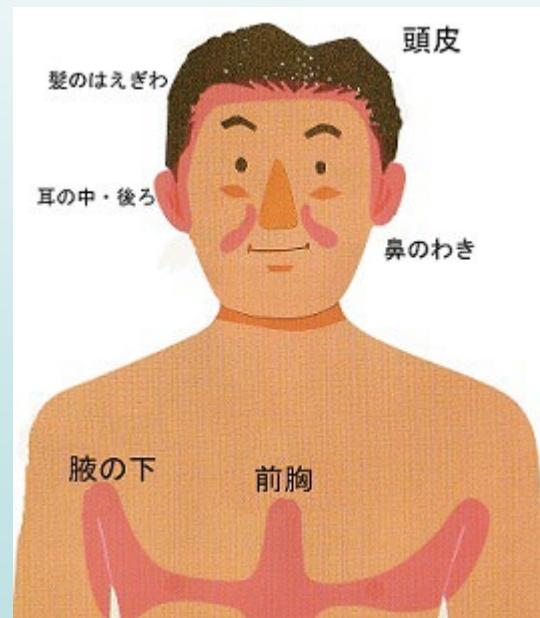
⑤アトピー性皮膚炎

治 療

- 外用治療
 - ・ステロイド ・タクロリムス ・デルゴシチニブ
- 紫外線治療
 - ・UVA ・UVB
- 内服治療
 - ・抗アレルギー剤 ・シクロスボリン
- 注射治療
 - ・生物学的製剤(デュピクセント®)

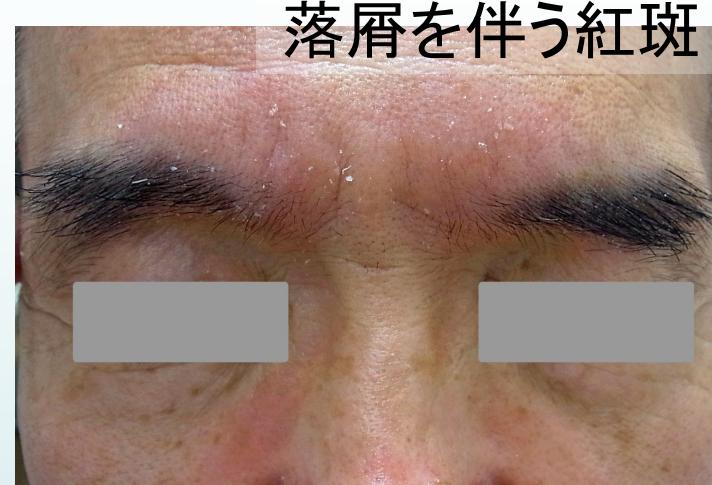
⑥脂漏性皮膚炎

- 脂漏部位に一致して生じる落屑を伴う紅斑
- マラセチア属の真菌の関与？
- 治療
 - ・ステロイド外用
 - ・抗真菌剤外用



湿疹・皮膚炎群

⑥脂漏性皮膚炎



⑦貨幣状湿疹



- 貨幣(コイン)状の丸い湿疹。中年男性に多い。
- 治療
 - ・ステロイド外用

⑧自家感作性皮膚炎



- 原発巣が悪化し、全身に小さな皮疹が多発する。
- 原発巣として、接触皮膚炎・貨幣状湿疹など
- 治療
 - ・ステロイド外用
 - ・ステロイド内服

⑨皮脂欠乏性湿疹



- 皮膚の乾燥による湿疹。冬に多い。
- 乾燥を避けるため、石鹼・長湯を控える。
- 治療
 - ・保湿剤外用
 - ・ステロイド外用

①蕁麻疹

蕁麻疹群

- 真皮上層の一過性の浮腫で数時間で消える。
- 経過による分類
 - ・急性
 - ・慢性(1ヶ月以上)
- 発症機序による分類
 - ・アレルギー性
 - ・非アレルギー性
- 発症誘引からみた分類
 - ・機械性 ・寒冷 ・日光 ・温熱
 - ・コリン性 ・接触性



①蕁麻疹

蕁麻疹群

➤ 検査

- ・皮膚描記症
- ・アレルギー検査

➤ 治療

- ・抗アレルギー剤内服
- ・ステロイド内服
- ・オムリズマブ注射

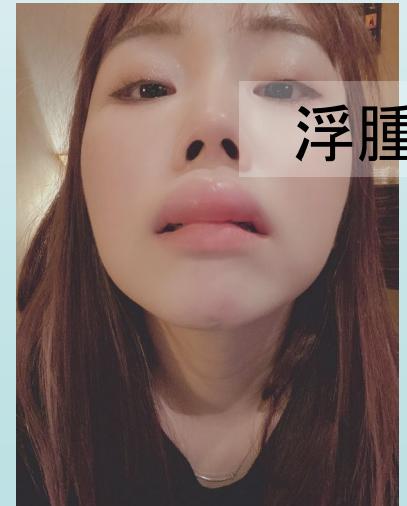


皮膚描記症

②血管神経性浮腫(クインケ浮腫)

蕁麻疹群

- 真皮下層～皮下組織の一過性の浮腫で数時間～数日で消える。
- 治療
 - ・抗アレルギー剤内服
 - ・ステロイド内服



痒疹

痒疹

- 激しい瘙痒を特徴とする慢性に経過する丘疹・結節を主症状とする
- 治療
 - ・抗アレルギー剤内服
 - ・ステロイド外用・
 - ・ステロイド閉鎖密閉療法
 - ・ステロイド局所注射



紅斑症

①多形滲出性紅斑

- 滲出傾向の著明な紅斑が四肢伸側に多発する。繰り返すことが多い。
- 原因
 - ・感染？
 - ・薬剤
- 治療
 - ・原因の除去
 - ・ステロイド外用
 - ・ステロイド内服



②スティーヴンス・ジョンソン症候群

紅斑症

- 多形滲出性紅斑の重症型。
結膜・口腔粘膜・外陰部に
粘膜疹がある。
死に至ることもある。

- 原因
 - ・薬剤が多い
- 治療
 - ・原因の除去
 - ・ステロイド内服
 - ・血漿交換療法



③スイート病

紅斑症

➤ 4徴候

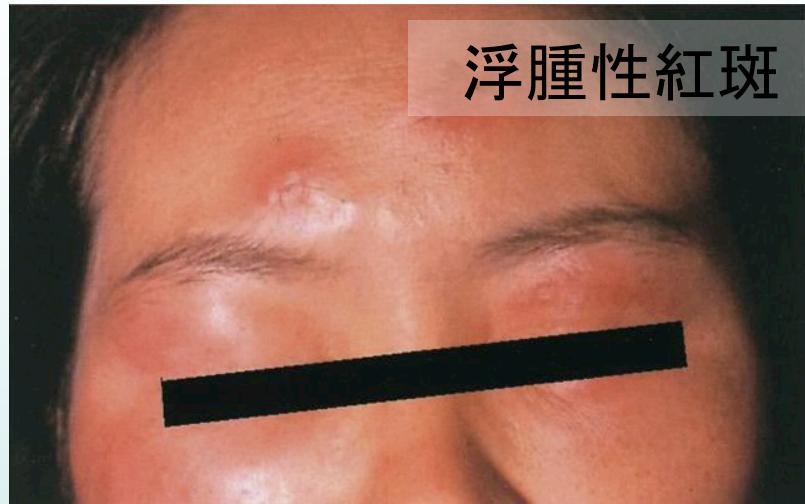
- ・多発性で圧痛のある紅斑
- ・持続性高熱
- ・好中球の増加
- ・真皮に好中球の浸潤

➤ 原因

- ・不明

➤ 治療

- ・ステロイド内服
- ・ヨウ化カリウム内服

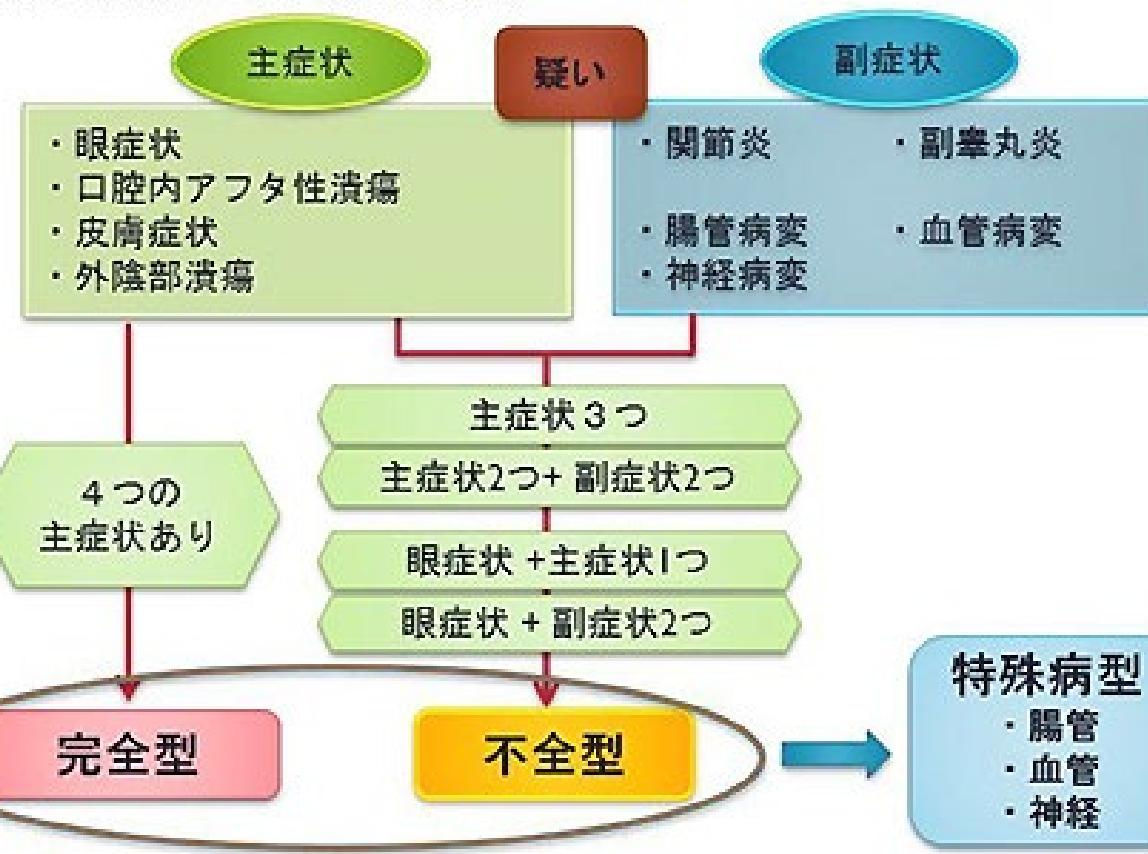


④ベーチェット病

紅斑症

◎ ベーチェット病の診断と病型

ベーチェット病診断基準
(厚労省研究班2010年小改訂より抜粋)



④ベーチェット病

紅斑症

口腔内アフタ性潰瘍

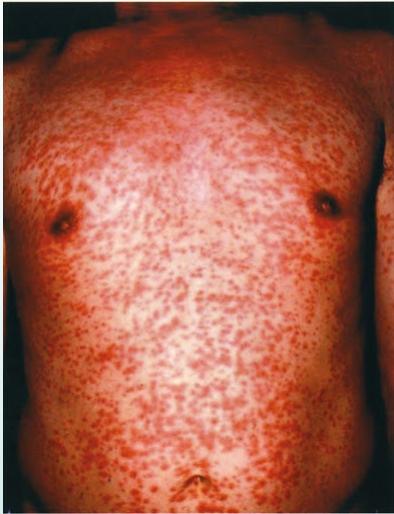


- 体内に摂取された薬剤、あるいはその代謝産物によって、皮膚や粘膜に発疹をきたすようになったもの
- 発症機序による分類
 - ・アレルギー性
 - ・非アレルギー性
 - アスピリン不耐症
 - ステロイドによる痤瘡・多毛 etc

藥疹

薬疹

➤ 病型分類



➤ 考え方

- ・感作期間は10～14日間
- ・感作された薬剤を内服した後、皮疹出現までは6～24時間
- ・原因薬剤を続けると皮疹は徐々（時に急速）に悪化する

薬疹

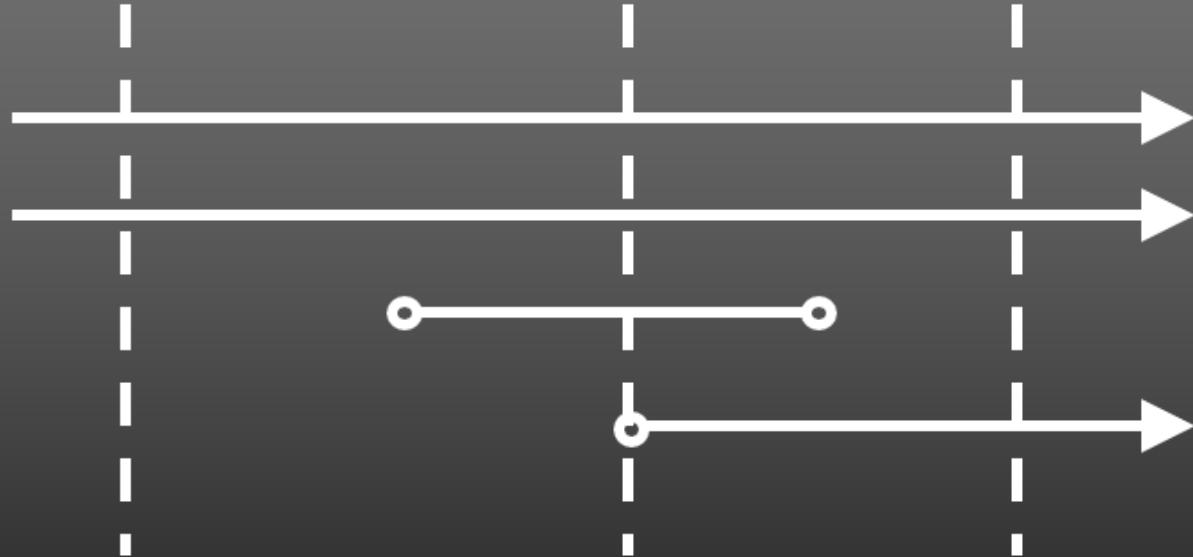
薬疹

9月

12/1

皮疹出現
12/14

薬剤A



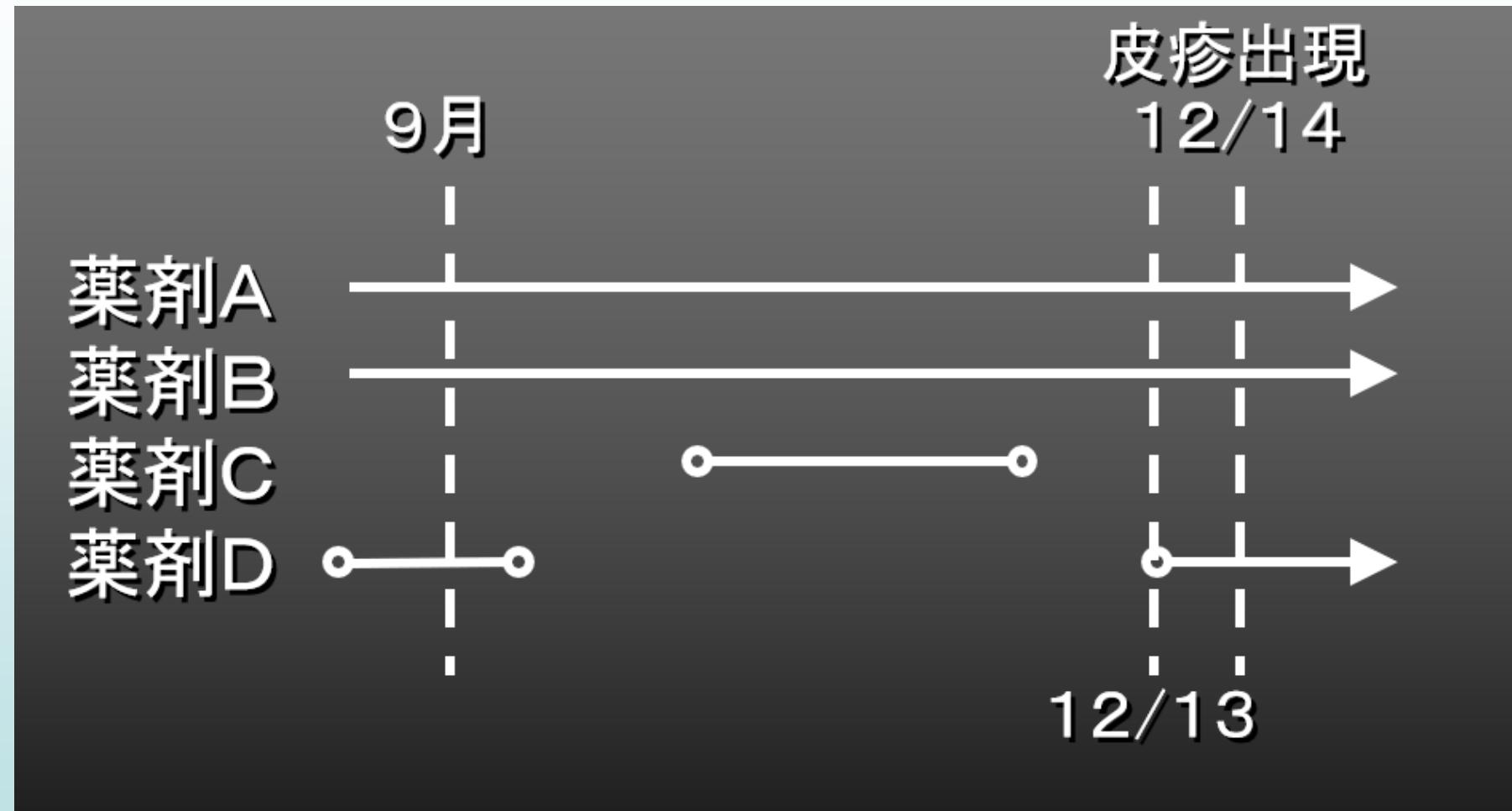
薬剤B

薬剤C

薬剤D

薬疹

薬疹



紅皮症

紅皮症

➤ 続発性紅皮症

- ・アトピー性皮膚炎
- ・自家感作性皮膚炎
- ・尋常性乾癬 etc

➤ 中毒性紅皮症

- ・薬剤
- ・感染症

➤ 腫瘍性紅皮症

- ・菌状息肉症
- ・セザリー症候群
- ・ホジキンリンパ腫



水疱症

水疱症

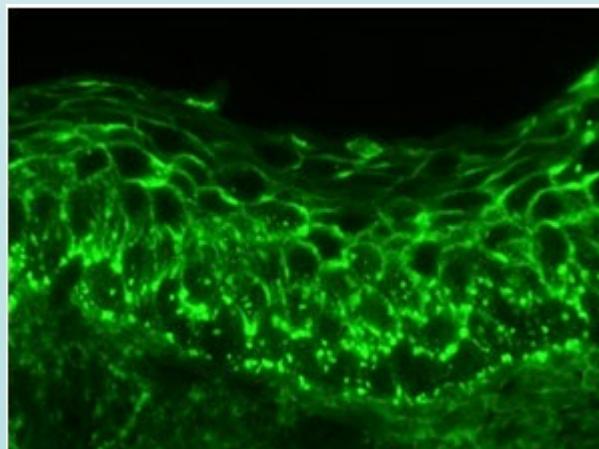
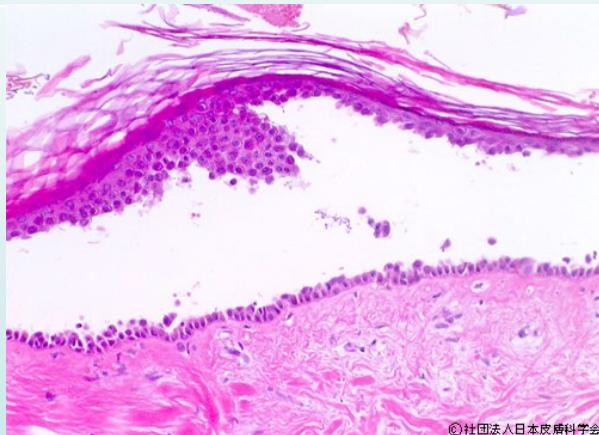
尋常性天疱瘡	水疱性類天疱瘡
自己免疫性疾患	自己免疫性疾患
40～60歳	60～70歳
弛緩性水疱	
	緊満性水疱
粘膜疹あり	粘膜疹まれ

水疱症

水疱症

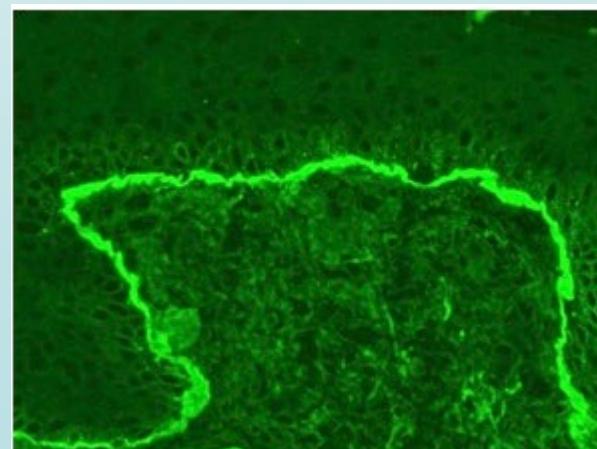
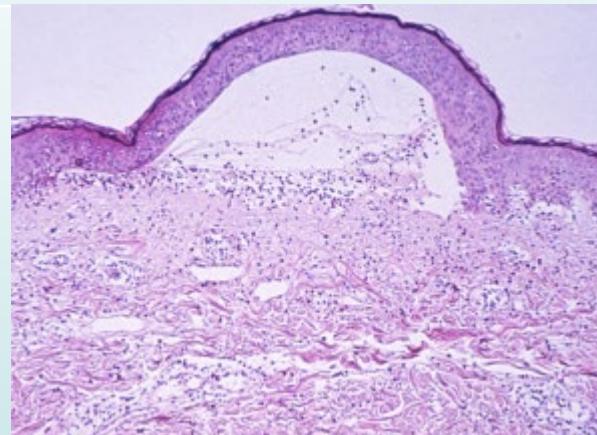
尋常性天疱瘡

細胞間接着装置
抗デスマグレイン抗体



水疱性類天疱瘡

表皮真皮境界部
抗BP180抗体、抗BP230抗体



科クリニック

③表皮水疱症

水疱症

パス

①掌蹠膿疱症

膿疱症

- 掌は手のひら、蹠は足のひら
- 無菌性の膿疱が手足に生じる。数日経つと褐色の痂皮、鱗屑を形成する。



- 原因
 - ・病巣感染
(扁桃、歯根、副鼻腔)

- 治療
 - ・病巣感染の治療
 - ・外用剤(ステロイド、ビタミンD)



②疱疹状膿痂疹

膿疱症

パス

角化症

角化症

- 角質の増殖あるいは蓄積をきたし、肉眼的に角質肥厚や鱗屑を主徴とする疾患

角化症

①魚鱗癬

- 葉状の鱗屑が付着し、一見すると魚の鱗状なった状態がみられる遺伝性疾患
- 尋常性魚鱗癬(→)が最も多い。常染色体優性遺伝。冬に増悪する。



角化症

②毛孔性苔癬

- 上腕、上背部、大腿部などにみられる毛孔一致性的角化性丘疹。
- 常染色体優性遺伝
- 治療
 - ・尿素軟膏外用
 - ・ダーマローラー
 - ・ビタミンD・ステロイド外用



③胼胝(べんち)

角化症

- 慢性機械性刺激に基づく境界が明瞭な角質増殖。
- 治療
 - ・切削
 - ・サリチル酸の貼付剤(スピール膏)



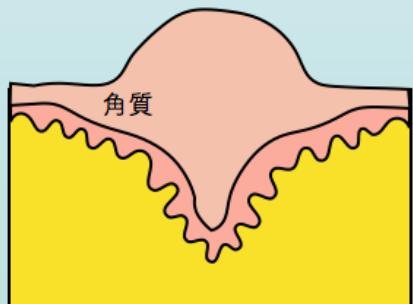
角化症

④鶏眼

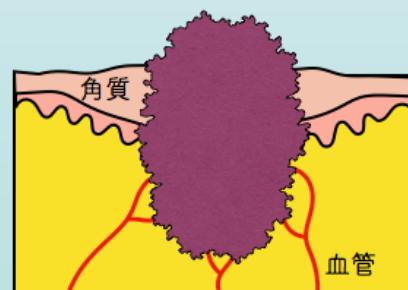
- 肥厚した角質が円錐を形成し、圧迫によって疼痛を伴うもの
- 治療
 - ・切削
 - ・サリチル酸の貼付剤(スピール膏)



胼胝（タコ）



鶏眼（魚の目、ウオノメ）



疣赘（ウィルス性イボ）

①乾癬

- 境界が明瞭な紅斑上に厚い銀白色の鱗屑が付着する皮疹が多く発する慢性再発性難治性の炎症性角化症
- 病型
 - ・尋常性乾癬
 - ・滴状乾癬(一過性)
 - ・乾癬性関節炎
 - ・乾癬性紅皮症
 - ・膿疱性乾癬

炎症性角化症



炎症性角化症

①乾癬

➤ 治療

- ・ステロイド外用
- ・ビタミンD3外用
- ・紫外線療法
- ・ビタミンA誘導体内服
- ・免疫抑制剤内服
- ・生物学的製剤



②扁平苔癬

炎症性角化症

- 紫紅色の扁平に隆起した多角形の丘疹で、表面に灰白色線条が網の目状にみられる。
- 口腔粘膜では、網の目状の乳白色線条がみられる。
- 原因
 - ・薬剤
 - ・肝炎ウイルス
- 治療
 - ・ステロイド外用



③ジベルばら色粂糠疹

炎症性角化症

- 楕円形で皮膚割線方向に長軸を一致させて配列する鱗屑を付す紅斑が多発
- 原因
 - ・不明
 - ・ウイルス説
- 予後
 - ・3~8週間で自然治癒



①ムチン沈着症

真皮の疾患

パス

②弹性線維性仮性黃色腫

真皮の疾患

パス

脂肪織炎

パス

①環状肉芽腫

肉芽腫症

- 丘疹または結節が遠心性に拡大して、正常またはわずかに陥凹した皮膚の周囲に環状の病変を形成することを特徴とする、良性かつ慢性の特発性疾患である。
- 糖尿病を伴うことがある。
- 自然治癒することが多い。



②サルコイドーシス

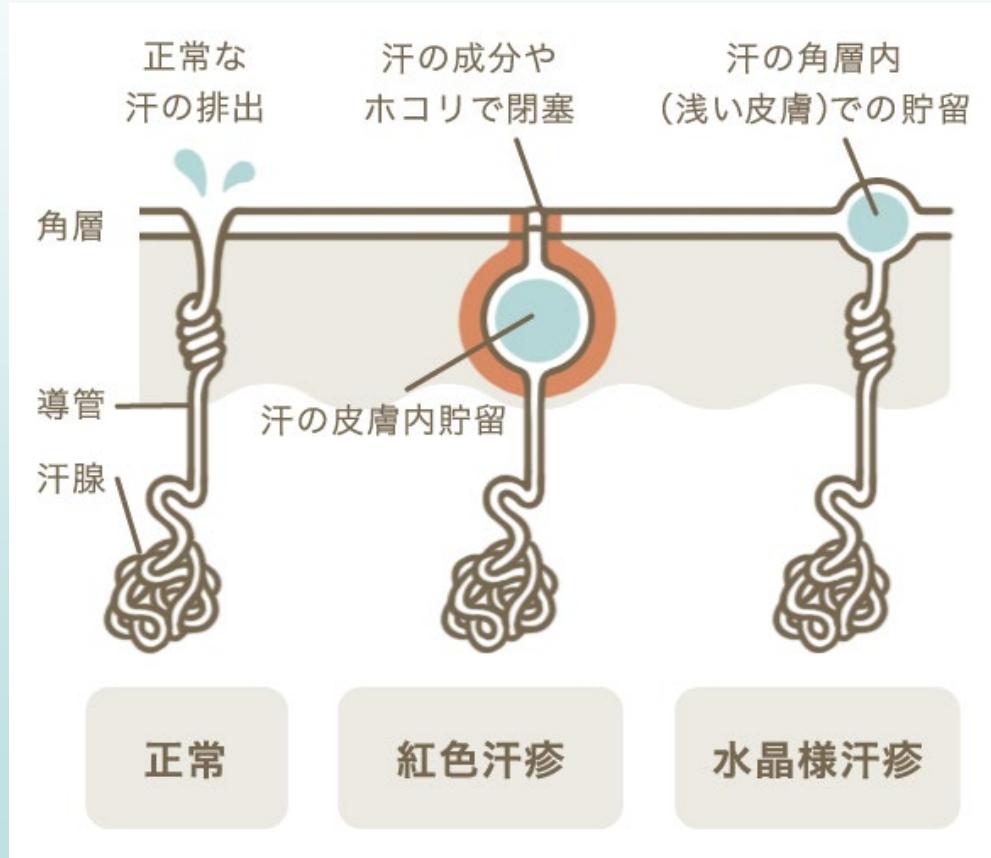
肉芽腫症

パス

汗腺の疾患

①汗疹(あせも)

➤ エクリン汗管の閉塞によるもの



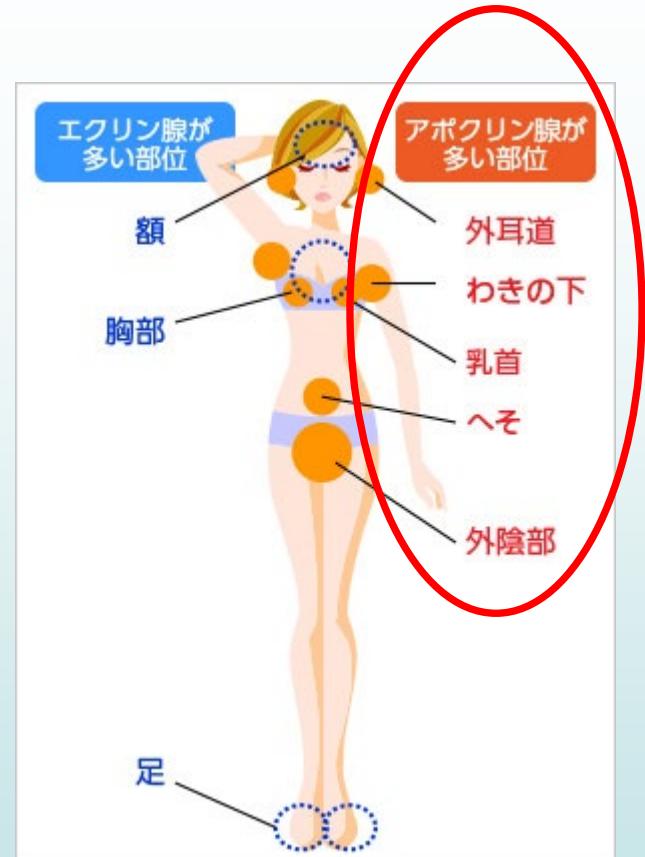
②多汗症

- 分類
 - ・全身性
 - ・局所性
- 治療
 - ・アルミニウム水・軟膏 外用
 - ・イオントフォレーシス
 - ・抗コリン薬内服
 - ・ボツリヌス毒素局所注射
 - ・交感神経遮断術(副作用多い)

汗腺の疾患

③臭汗症

- アポクリン腺から出る汗が臭う。
- 治療
 - ・抗生素質外用
 - ・塩化アルミニウム外用
 - ・ミラドライ
 - ・手術



毛髪の疾患

①脱毛症

- 円形脱毛症
 - ・自己免疫性疾患
 - ・全頭、全身に起こることあり。
- トリコチロマニア(抜毛症)
 - ・小中学生の女子
 - ・切れ毛、カールした毛
- 男性型脱毛症(AGA)
 - ・いわゆる若ハゲ
 - ・治療法あり



②多毛症

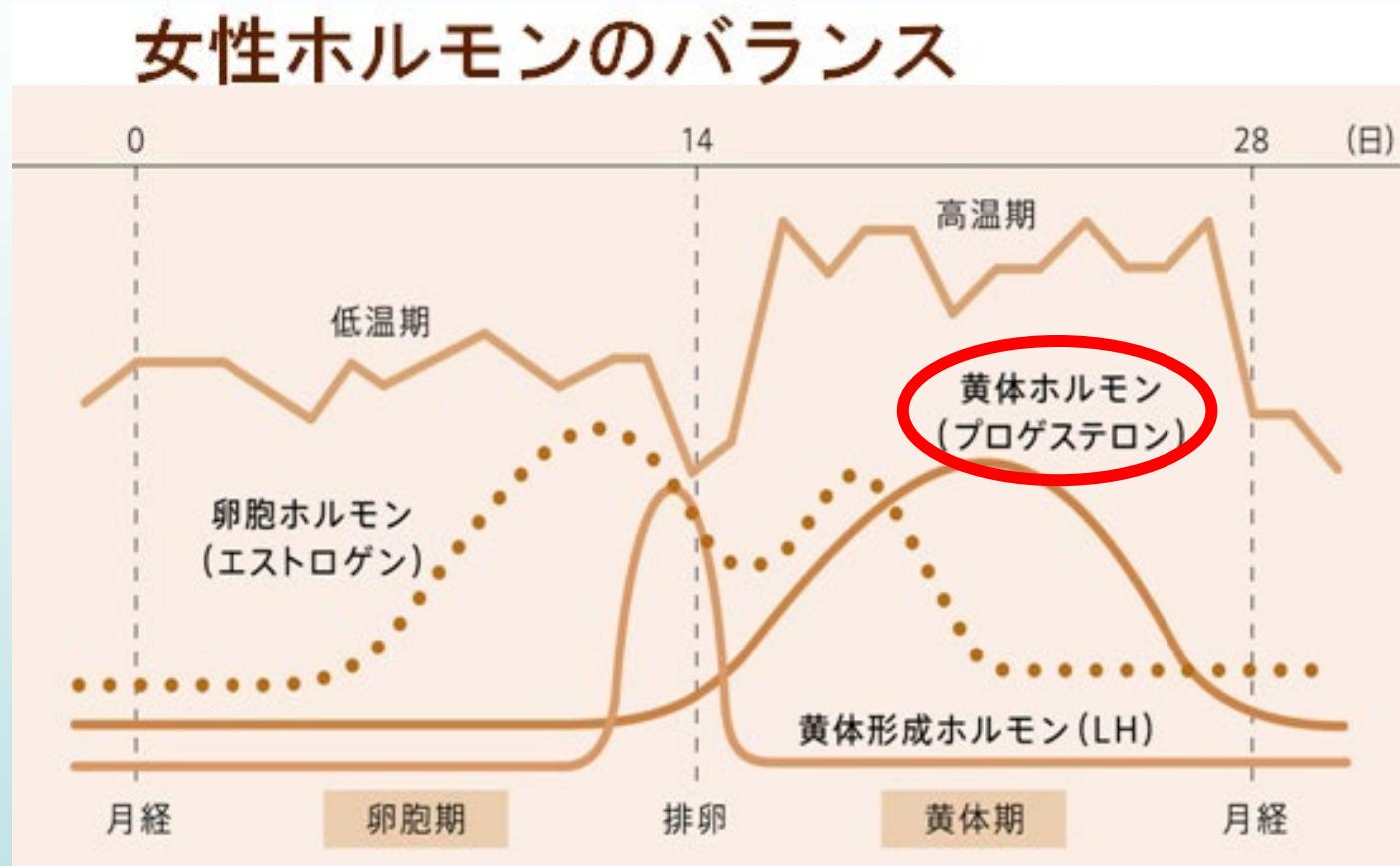
毛髪の疾患

パス

尋常性痤瘡(にきび)

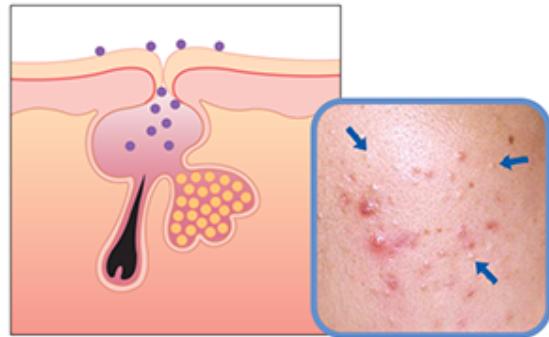
- アンドロゲン(男性は精巣、女性は副腎・卵巣)やプロゲステロンが、皮脂腺の分泌亢進・毛嚢漏斗部の異常角化を起こす。
- それにより面皰(コメド)ができる。
- 常在菌であるアクネ桿菌が増殖し、炎症を惹起し炎症性の痤瘡ができる。

尋常性痤瘡(にきび)



黄体ホルモン(プロゲステロン)には男性ホルモン作用がある。

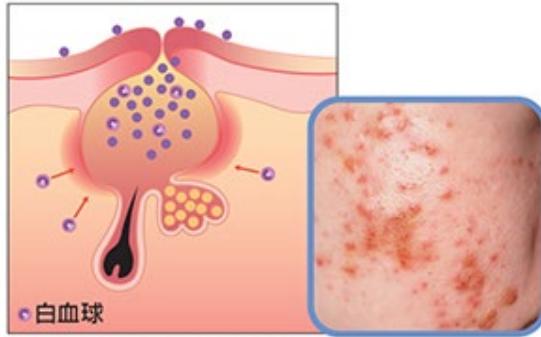
尋常性痤瘡(にきび)



①面皰(コメド)

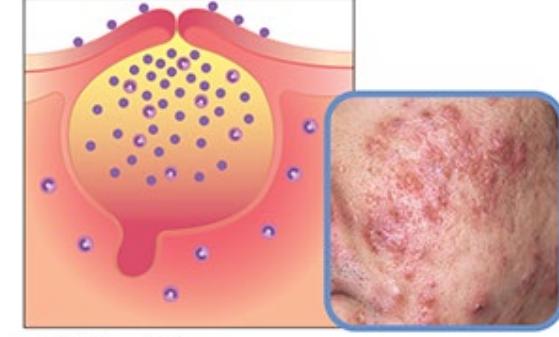
古い角質が詰まり、角栓ができるで毛穴が閉塞したり、性ホルモンの分泌量が増加し、皮脂の分泌が多量になったりすると、皮脂が毛穴の中にたまって『面皰(コメド)』ができます。

アクネ菌は、皮脂を好み酸素を嫌うため、発育に好都合な面皰の中で増殖します。



②紅色丘疹・膿庖

毛穴の中で過剰に増殖したアクネ菌は、炎症を起こす物質をつくります。そして、炎症が起ると、ニキビは赤く盛り上がって『紅色丘疹』となったり、膿がたまって『膿庖』となります。



③硬結・囊腫

さらに、炎症が拡大して進行すると、毛穴の壁が破壊され、皮下に膿のふくろができる『囊腫』となったり、硬く盛り上がって『硬結』ができます。強い炎症の後には、凸凹したニキビ痕(瘢痕)を残すことがあります。

尋常性痤瘡(にきび)

➤ 治療

- ・抗生素質外用
- ・過酸化ベンゾイル外用
- ・レチノイド外用(アダパレン)
- ・抗生素質内服

-
- ・イソトレチノイン内服
 - ・ケミカルピーリング
 - ・ホルモン治療(スピロノラクトン、避妊用ピル)

爪の変形



爪甲脱落症

爪の疾患



爪甲横溝



爪甲剥離症



ばち指



陷入爪



巻き爪

爪の色の変化



緑色爪

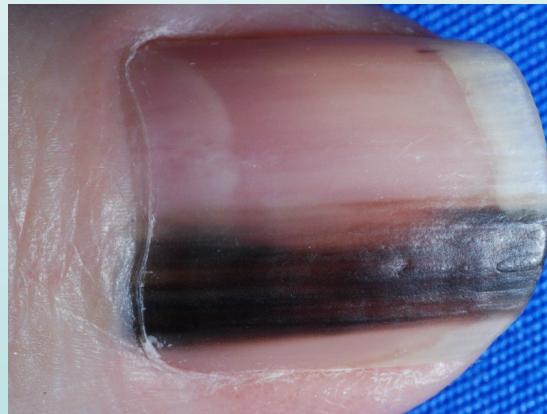


黒色爪

爪の疾患



爪下出血



メラノーマ



白色爪

①IgA血管炎

血管炎

- アナフィラクトイド紫斑とも言う
- 腹痛・下痢・血便
関節痛
血尿・蛋白尿
- IgA腎症に移行することもある



②皮膚白血球破碎性血管炎

血管炎

パス

①皮斑(リベド)

血行障害

- 皮膚末梢循環障害に起因する、網の目状の紅斑を主徴とする。
- 分類
 - ・大理石様皮膚
 - ・網状皮斑
 - ・分枝状皮斑



②レイノー現象

血行障害

- 寒冷刺激による動脈の一過性収縮
- 原因
 - ・レイノー病
 - ・膠原病
 - ・職業病 etc



③バージャー病

血行障害

バージャー氏病の指趾潰瘍



④閉塞性動脈硬化症(ASO)

血行障害



⑤下腿潰瘍

血行障害

- 下腿に生じる難治性の潰瘍
- 原因として一番多いのは
静脈瘤性



紫斑

- 皮膚や粘膜の肉眼的に観察可能な赤血球の血管外漏出
- ガラス圧法で退色しない

紫斑



紫斑を呈する疾患

紫斑



IgA血管炎



特発性血小板減少性紫斑病



老人性紫斑

①日光皮膚炎(日焼け)

光線



光線

②光線過敏症

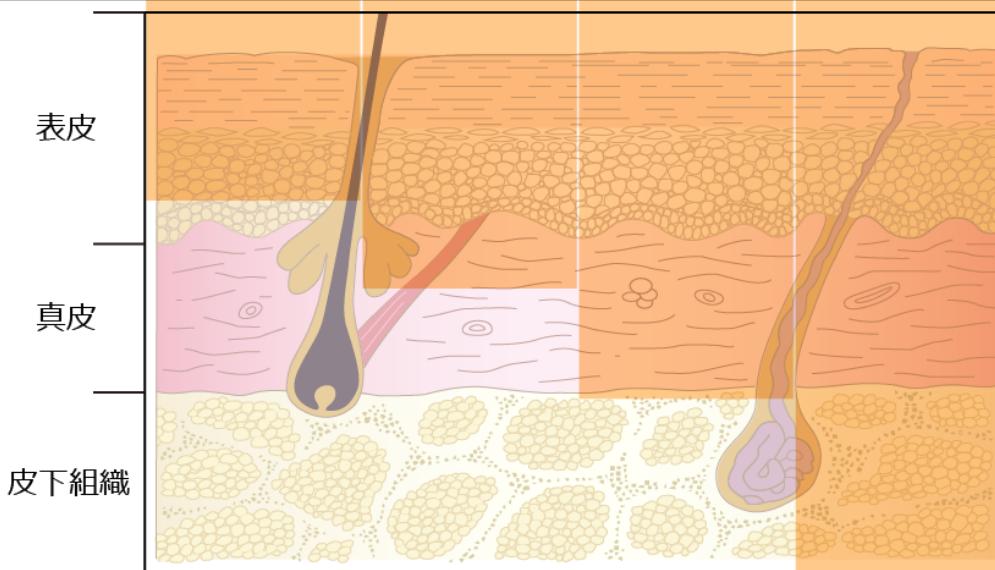
- 光線(主に紫外線)によって生じる皮膚疾患の総称
- 内因性・外因性



①熱傷

温熱

熱傷深度	I 度	浅達性II度	深達性II度	III度
障害組織	表皮 (角質層)	表皮 (有棘層、基底層)	真皮 (乳頭層、乳頭下層)	真皮全層 皮下組織
外見	紅潮	水疱形成	水疱形成	壞死
症状	疼痛、熱感	強い疼痛 灼熱感 知覚鈍麻	強い疼痛 灼熱感 知覚鈍麻	無痛性
治療期間	数日	約 10 日間	3 週間	自然治癒なし 瘢痕拘縮



②電撃傷

温熱



①凍傷

寒冷



②凍瘡

寒冷

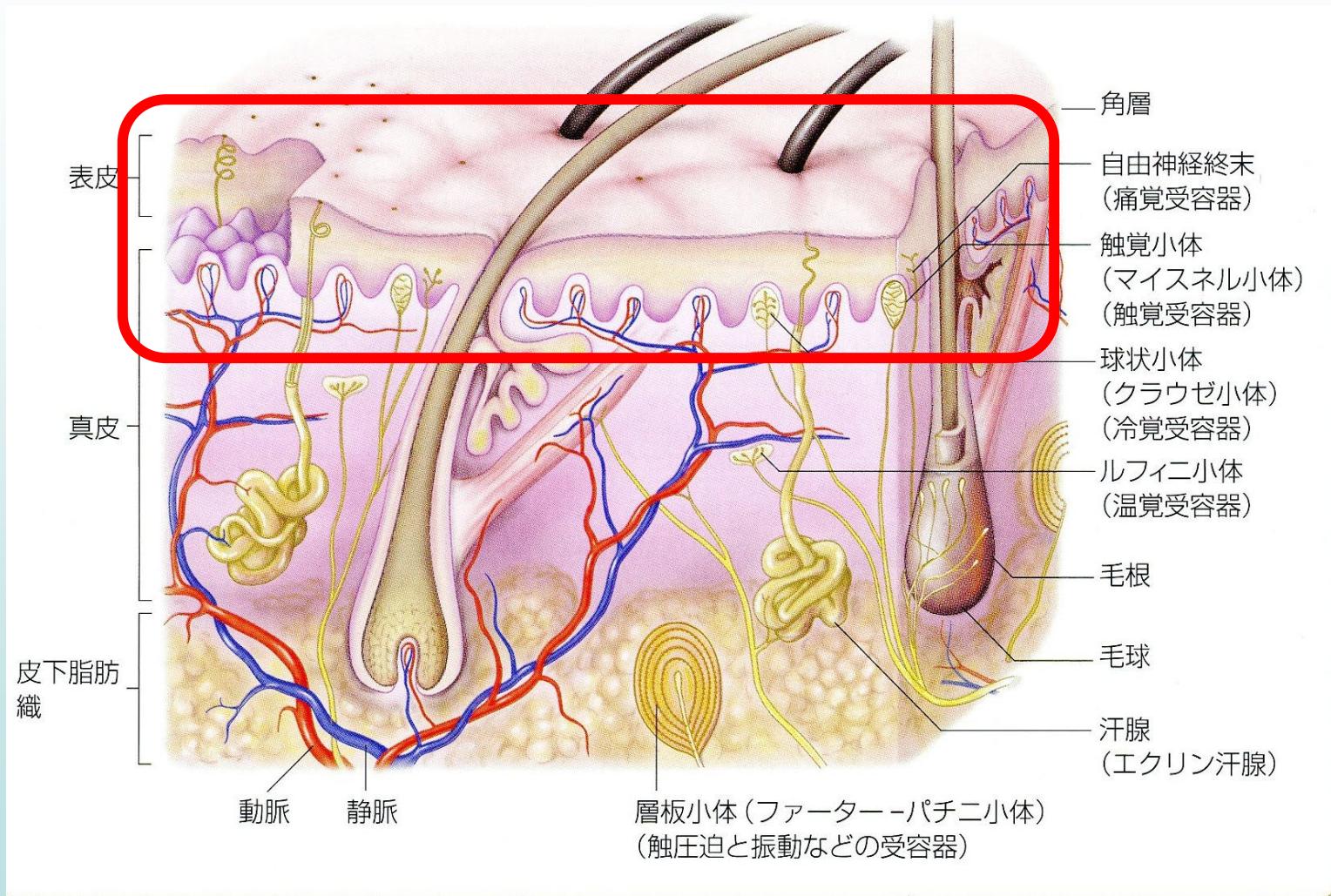


放射線皮膚炎



褥瘡

上皮系腫瘍



上皮系腫瘍

①脂漏性角化症

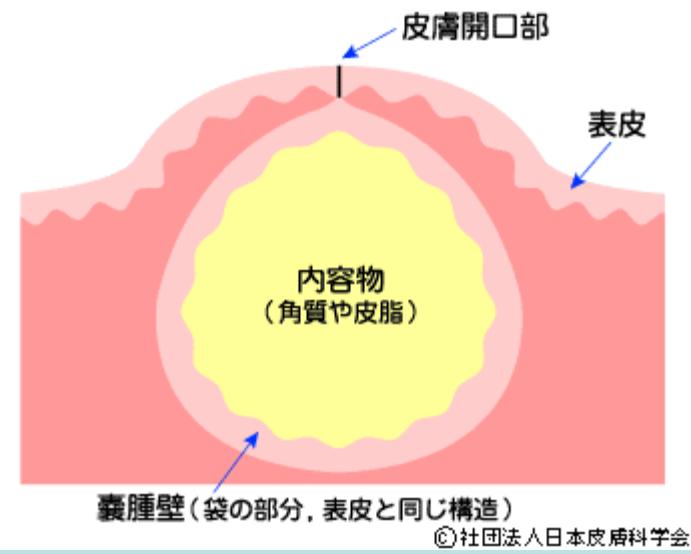
- いわゆる老人性のイボ
- 20代から出現する
- 治療
 - ・炭酸ガスレーザー



上皮系腫瘍

②粉瘤

- 表皮に包まれた囊腫
- 内容物はいわゆる「アカ」
- 治療
 - ・へそ抜き法



©社団法人日本皮膚科学会

上皮系腫瘍

③脂腺母斑

- 生下時よりある
- 頭部に生じることが多い
- 成人以降に癌化のリスクがあるので切除が望ましい



©社団法人日本皮膚科学会

上皮系腫瘍

④光線角化症

- 長期の紫外線暴露によって生じる前がん病変。
- 有棘細胞癌に進展することがある。
- 治療
 - ・切除
 - ・冷凍凝固
 - ・イミキモド外用



⑤上皮系がん

上皮系腫瘍



基底細胞がん



ボーエン病



有棘細胞がん



パジェット病

①色素性母斑

メラノサイト系腫瘍

- いわゆるホクロ
- 小さいものは3, 4歳から、大きいものは生下時よりある
- 治療
 - ・切除(紡錘形切除、くり抜き)
 - ・炭酸ガスレーザー



②悪性黒色腫

メラノサイト系腫瘍



むら皮膚科クリニック
©社団法人日本皮膚科学会

②悪性黒色腫

メラノサイト系腫瘍

- メラノサイト系の細胞の癌化によって生じる。
- 転移を生じやすく、極めて悪性度が高い
- ほくろとの鑑別が困難なことがある。
 - ・形が左右対称ではない
 - ・色に濃淡があり均一ではない
 - ・縁がギザギザですっきりしていない
 - ・直徑が6ミリ以上になっている

②悪性黒色腫

メラノサイト系腫瘍



むら皮膚科クリニック
©社団法人日本皮膚科学会

①皮膚線維腫

- 直径2~3cmまでの褐色で硬い小結節
- 四肢に好発する
- 治療
 - ・手術

間葉系腫瘍



②アクロコルドン

間葉系腫瘍

- 女性の頸部に好発する。
- 老化現象
- 治療
 - ・はさみでカット
 - ・炭酸ガスレーザー



③肥厚性瘢痕・ケロイド

間葉系腫瘍

- 肥厚性瘢痕
 - ・創面を大きく超えない
 - ・時間経過で白く萎縮する
- ケロイド
 - ・創面を大きく超えて増大する
- 治療
 - ・圧迫
 - ・ステロイド注射
 - ・色素レーザー



④毛細血管奇形

間葉系腫瘍

- 単純性血管腫とも呼ばれる
- 出生時より認められる
- 治療
 - ・色素レーザー



⑤正中部母斑

間葉系腫瘍

- サーモンパッチとも呼ばれる
- 額中央・うなじ・上眼瞼に生じる
- 額のものは自然消退する
- 治療
 - ・色素レーザー



⑥乳児血管腫

間葉系腫瘍

- いちご状血管腫とも呼ばれる
- 生後2~3週間以内に発生
- 生後1年までは増大する
- 小学生くらいまでには消退
- 治療
 - 自然消退を待つ
 - 色素レーザー



⑦カサバッハ・メリット症候群

間葉系腫瘍

パス

⑧菌状息肉症

間葉系腫瘍



⑨成人T細胞白血球リンパ腫 間葉系腫瘍

パス

①色素脱失症

色素異常症

➤尋常性白斑



汎発型



分節型

[1] カフェオレ斑

色素増加症

- 出生時からあることが多い。
- 色調が一様
- 6個以上ある場合は、神経線維腫症1型を疑う



[2] 扁平母斑

色素増加症

- 出生時からある色素斑
- 色調が一様
- 治療
 - ・Qスイッチレーザー
消える確率は20%くらい



[3]ベッカー母斑

色素増加症

- 思春期前後に生じてくる
- 多毛を伴うことが多い
- 治療
 - ・Qスイッチレーザー



©社団法人日本皮膚科学会

[4]太田母斑

色素増加症

- いわゆる青あざ
- 真皮内にメラノサイトが存在するため青く見える
- 治療
Qスイッチレーザーが著効



[5]蒙古斑

色素増加症

- 出生時からある
- 黄色人種に100%
- 10歳くらいまでには消退する
- 異所性蒙古斑は消えないことも多い
- 治療
Qスイッチレーザー



[6]雀卵斑(そばかす)

色素増加症

- 5, 6歳頃に発症
- 思春期に著明となる
- 治療
Qスイッチレーザーが著効



[7] 肝斑

色素増加症

- 女性に多い
- 紫外線、こすり洗いで生じる
- 治療
 - ・サンスクリーン
 - ・泡洗顔
 - ・トラネキサム酸内服
 - ・レーザーで悪化する



[8]老人性色素斑

色素増加症

- 日光暴露部に生じる丸い色素斑
- 治療
 - ・トレチノイン外用
 - ・Qスイッチレーザー



①結節性硬化症

母斑症

- 皮膚症状・過誤腫・中枢神経症状を主徴とする常染色体顕性遺伝疾患



血管線維腫



葉状白斑



ケネン腫瘍

②神経線維腫症1型(von Recklinghausen病)

- NF1遺伝子の変異により多発する神経線維腫を主徴とする常染色体顕性遺伝疾患。
半数は突然変異。
- 幼少期はカフェオレ斑が多発。思春期以降に神経線維腫が多発してくる。



図 1 カフェ・オ・レ斑と神経線維腫



③毛細血管奇形を伴う母斑症

母斑症

パス

①毛包性膿皮症

細菌感染症

- 化膿球菌による毛嚢の急性化膿性炎症
- せつ、せつ腫症、ように分類される
- 顔面に出来たせつは面疔と呼ばれる。
- 治療
 - ・セフェム系抗生物質内服
 - ・排膿



②伝染性膿痂疹(とびひ)

細菌感染症

- 主に黄色ブドウ球菌による皮膚表層の感染症
- 子供に多い
- 黄色ブドウ球菌が産生する表皮剥脱毒素により水疱が生じる
- MRSAが原因となることもある
- 治療
 - ・抗生素外用・内服



©社団法人日本皮膚科学会

③ブドウ球菌性熱傷様

細菌感染症

皮膚症候群

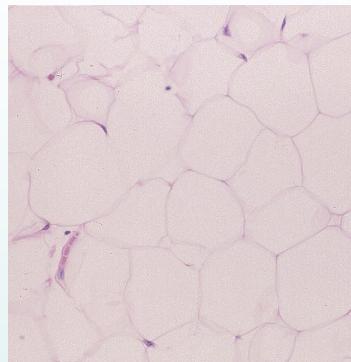
- 黄色ブドウ球菌が産生する表皮剥脱毒素が血中にに入る
- 乳幼児に多い
- 治療
 - ・抗生素点滴



④蜂巣炎

細菌感染症

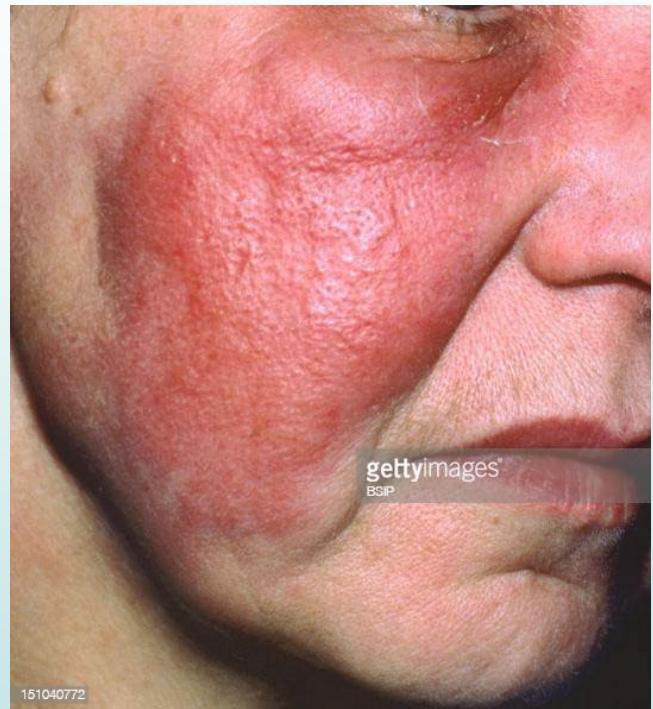
- 蜂巣(脂肪織)に起こる黄色ブドウ球菌による炎症
- 足白癬(水虫)の傷口からの感染が多い
- 治療
 - ・抗生素質点滴、内服



⑤丹毒

細菌感染症

- A群 β 溶連菌による真皮浅層を
おかす浮腫性化膿性炎症
- 境界鮮明で法令線を超えない
のが特徴
- 発熱を伴う事がおおい
- 治療
ペニシリン系抗菌薬点滴



⑥壊死性筋膜炎

細菌感染症

- A群β溶連菌による軟部組織の感染症。筋膜を伝って急速に拡大する
- 初期は蜂巣炎に類似するが、急速に水疱・血疱などの多彩な皮膚症状を呈する
- 初期でも握雪感の有無で見分けられる
- 治療
 - ・デブリードマン
 - ・大量の抗生物質投与



皮膚結核

パス

ハンセン病

パス

①白癬一股部白癬

真菌感染症

- 中心治癒傾向のある環状紅斑
- ステロイドの誤用で悪化して来院する人も多い



①白癬一体部白癬

真菌感染症

- 柔道、レスリングをしている人、
犬・猫を飼っている人
- 中心治癒傾向のある輪状疹



①白癬一手白癬

真菌感染症

- まれ
- 寝たきりの老人、革グローブをつける仕事をしている人
- 片手のみことが多い



①白癬－足白癬

- 最も頻度の高い真菌感染症
- 病型
 - ・小水疱型
 - ・趾間型
 - ・角質増殖型



(c)kimkimchin-stock.adobe.com

①白癬一爪白癬

- 他の白癬からの感染が多い
- 治療
 - ・外用一治癒率30%くらい
 - ・内服一治癒率90%以上



②皮膚・粘膜カンジダ症

真菌感染症

- 常在菌であるカンジダ菌による感染症
- おむつ内、指の間(特に第3指間)、口角など湿気やすい部位に生じる
- 治療
 - 乾燥を心がける
 - 抗真菌剤外用



③癧風

真菌感染症

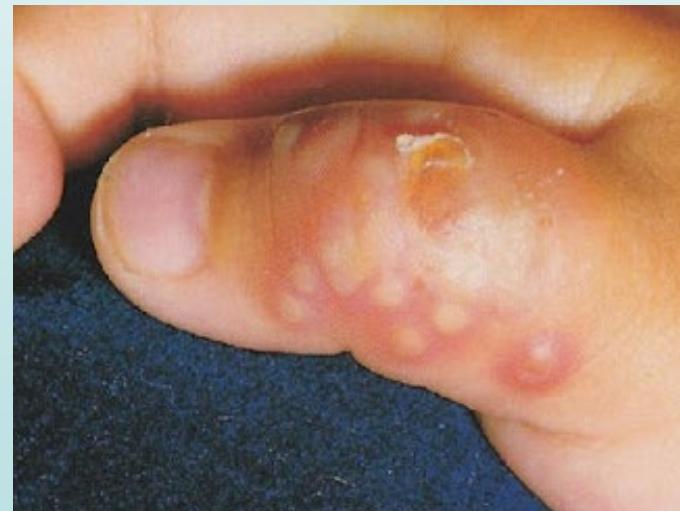
- 常在菌である马拉セチア菌による感染症
- 主に胸部・背部など皮脂の多い部分に生じる
- 表面をこすると細かい鱗屑がみられる。
- 治療
 - 抗真菌剤外用



①単純疱疹

- 単純ヘルペスウイルスによる再感染
- ウィルスは神経節に潜伏感染している
- 口唇・陰部・指などが多いが全身のどこでも生じうる
- 同じ部位が多い
- 治療
 - ・抗ウィルス薬外用・内服

ウィルス感染症



②帯状疱疹

ウィルス感染症

- 水痘・帯状疱疹ウイルスによる再感染
- 初感染は水痘(みずぼうそう)
- 神経痛が一週間ぐらい先行し皮疹が生じてくる
- 皮疹が消退した後も神経痛が残ることもある(帯状疱疹後神経痛)
- 治療
 - ・抗ウイルス薬内服



③[1]尋常性疣贅 ヒトパピローマウイルス感染症

- 最も頻度が高い
- 手足が好発部位
- 治療
 - ・液体窒素療法
 - ・ヨクイニン内服



③[2]青年性扁平疣贅

ヒトパピローマウイルス感染症

- 顔面が好発部位
- 自然治癒も多い
- 治療
 - ・液体窒素療法
 - ・ヨクイニン内服
 - ・接触免疫療法



③[3]尖圭コンジローマ

ヒトパピローマウイルス感染症

- 性感染症のひとつ
- 女性は子宮頸がんに注意
- 予防接種が大切
- 治療
 - ・液体窒素療法
 - ・レーザー手術
 - ・イミキモド外用



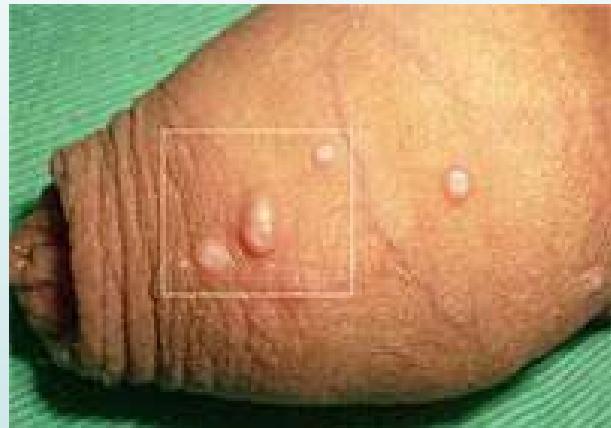
④伝染性軟属腫

ウイルス感染症

- 伝染性軟属腫ウイルスによる
- 幼小児に多く、保育園・幼稚園・スイミングスクールで集団発生する。
- 半年から3年くらいで自然治癒
- 治療
 - ・放置
 - ・ピンセットで摘除



⑤後天性免疫不全症候群 ウイルス感染症



大人の伝染性軟属腫



偽膜性カンジダ症



肛門の尖圭コンジローマ

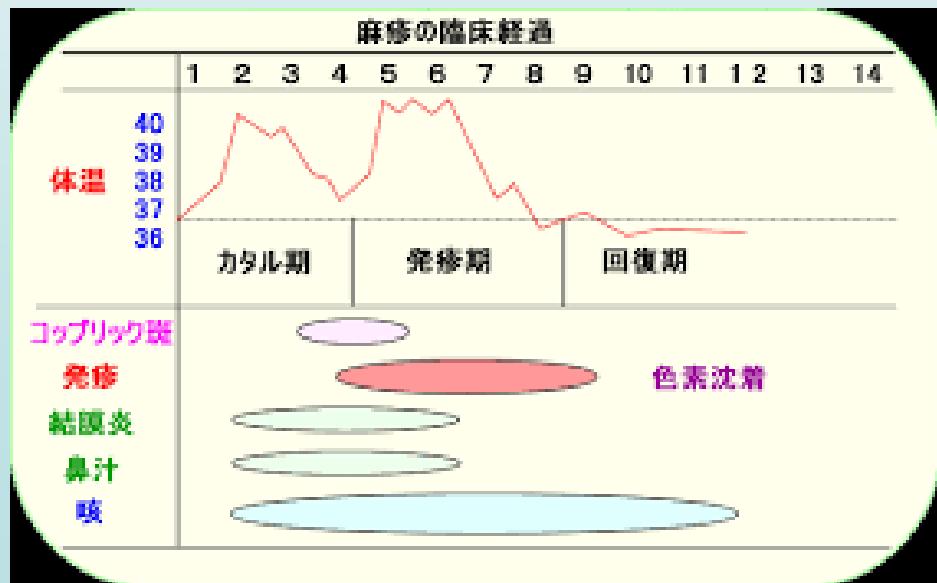
ウィルス感染症



融合する紅斑



コブリック斑



[2]風疹

ウィルス感染症

- 皮疹
- リンパ節腫脹
- 発熱



[3]水痘

ウィルス感染症

- 水痘・帯状疱疹ウイルス
- 小児に多い
- 抗ウイルス薬



[4]伝染性紅斑

ウイルス感染症

- いわゆるリンゴ病
- ヒトパルボウイルスB19
- 顔の紅斑、腕のレース状紅斑
- 再発がたまにある



[5]手足口病

ウイルス感染症

- 手・足・口に小水疱
- いろいろなウイルス
- しばらくして爪が剥がれてくることあり



梅毒

性感染症

- 海外旅行客の増加とともに近年患者数が増加している
- 皮疹(バラ疹、手掌の紅斑)で見つかることもおおい
- 治療
 - ・ペニシリン内服



①クリーピング病

寄生虫・動物



②ツツガムシ病

寄生虫・動物

- ツツガムシが持つ病原菌による感染症
- 山林や川沿いで刺される
- 痢皮を伴う虫刺されの跡が長く残る
- 虫刺後1～2週間で40°Cの高熱・悪寒・筋肉痛等が生じる
- 発熱以降にバラ疹が生じる
- 治療
 - ・テトラサイクリン系抗生物質



寄生虫・動物

③疥癬

- 疥癬虫というダニによる皮膚病
- 老人施設で流行しやすい
- 全身に強い痒みの丘疹
- 股間、指間に丘疹があれば疑う
- 疥癬トンネル
- まずは疑うのが大事
- 治療
 - ・イベルメクチン内服



④シラミ症

- ケジラミ症とアタマジラミ症
- ケジラミは性感染症。陰部だけでなく眉毛・胸毛に発生することもある
- アタマジラミは頭を触れ合う幼稚園・保育園で流行する
- 虫卵・虫体を探す
- 治療
 - ・スミスリンパウダー



膠原病

膠原病

- 膠原病とは広範な結合組織の炎症を主症状とする疾患群のこと
- 代表的なものとして、全身性エリテマトーデス(SLE)、全身性強皮症、皮膚筋炎

全身性エリテマトーデス(SLE) 膠原病



円板状エリテマトーデス

膠原病



全身性強皮症



©社団法人日本皮膚科学会

膠原病



限局性強皮症

膠原病



皮膚筋炎



ヘリオトロープ疹

膠原病



ゴットロン徵候

アミロイドーシス



アミロイド苔癬

代謝異常症



斑状アミロイドーシス

黄色腫

代謝異常症



ポルフィリン症

代謝異常症

パス

テストについて

- 写真を見て最も疑われる病名を答える問題を出します。